



## 超音波内視鏡(EUS)を用いた 胆膵疾患の診断と治療

### ◎はじめに

平素より、大切な患者様の病診連携にご協力いただきまして誠にありがとうございます。東邦大学医療センター大橋病院消化器内科の齋藤倫寛と申します。私は胆膵チームの一員として胆膵疾患を中心に日々の診療を行っています。近年の胆膵疾患に対する診断と治療の進歩は目覚ましく、様々なデバイスが開発されるとともに、新たな内視鏡検査や治療方法が出現してきました。本稿では、当科で積極的に行っております、超音波内視鏡(EUS)を用いた胆膵疾患の診断と治療についてご紹介させていただきます。

### ◎膵癌早期発見におけるEUSの役割

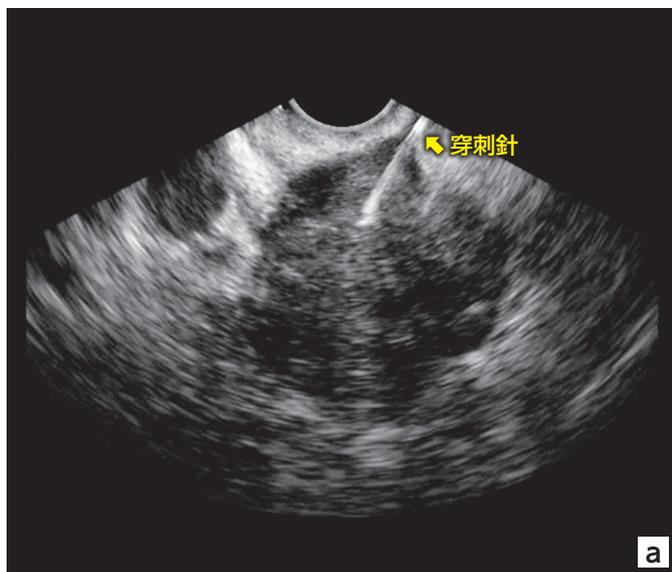
膵癌は発見された時には切除不能な状態である事が多く、最も難治な癌の一つとして知られています。昨今の医療の進歩にもかかわらず、治療成績の改善は乏しく、遠隔転移を有する膵癌の生存期間中央値は化学療法を行っても1年前後というのが現状です。このような現状を改善するため、早期発見の重要性が

改めて認識されています。

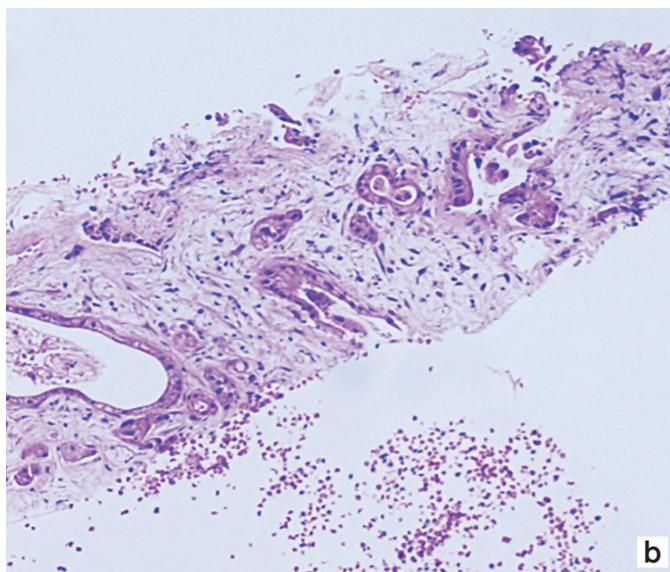
EUSはCTやMRIと比べ高解像度で、小膵癌の検出に優れます。近年、地域連携を活かし、膵癌の家族歴、糖尿病、肥満、喫煙、慢性膵炎、膵管内乳頭粘液性腫瘍(IPMN)などの膵癌の危険因子を複数持っている方や、腹痛、背部痛がある方、採血検査で膵酵素や腫瘍マーカーに異常がある方に対し積極的に腹部USを行い、膵管拡張や膵嚢胞性病変といった膵癌の間接所見を拾い上げ、地域の中核病院でEUSなどの膵精査を行う事で膵癌の早期発見に効果を上げている報告がございます。当科でも、前述の様な膵癌の危険因子や症状、検査所見を有する患者様をご紹介いただきました際には、積極的にEUSを中心とした膵精査を行っています。

EUSなどで膵癌を疑う腫瘍性病変を認めた場合には超音波内視鏡下穿刺吸引法(EUS-FNA)を行い病理学的な確定診断をします。腫瘍を認めなかった場合でも早期膵癌を疑う限局性の膵実質萎縮や膵管狭窄を認めた場合は内視鏡的逆行性胆管膵管造影(ERCP)による連続液細胞診(SPAC)を行っています。この様に、膵癌の早期発見と共に確実な病理診断に努めています。

図1：EUS-FNA



a：胃十二指腸からEUSで膵腫瘍を描出し、  
穿刺針で腫瘍を穿孔



b：採取した組織検体、線維組織の中に浸潤した  
異型腺管が見られる

## ●Interventional EUSの進歩

近年、Interventional EUSと呼ばれるEUS下穿刺術を応用した様々な治療が本邦でも急速に普及してきています。当院では以前から膵仮性嚢胞や膵炎後の被包化膵壊死（WON）に対するEUS下ドレナージ術を積極的に行って参りました。ここ数年では特に、閉塞性黄疸に対するEUS下胆道ドレナージ術（EUS-BD）の一つであるEUS下胆管胃吻合術（EUS-HGS）の件数が増加しており良好な成績を挙げています。

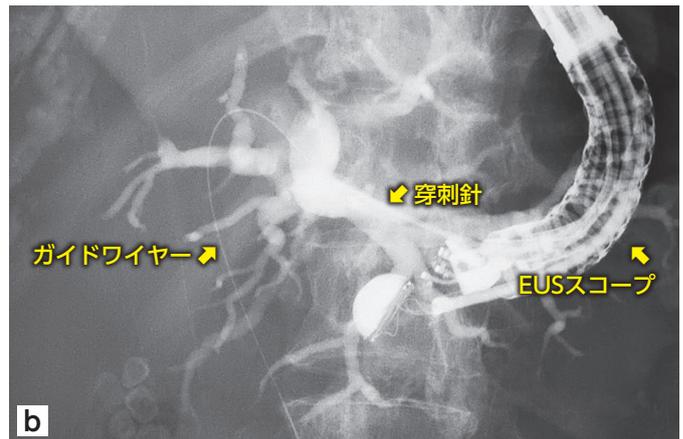
EUS-HGSは癌の浸潤による十二指腸閉塞や、胃術後などの再建腸管のため、解剖学的に十二指腸乳頭部にアプローチで

きずERCPが困難な方が良い適応となります。従来、このような場合は経皮経肝的胆管ドレナージ（PTBD）を行わざるを得ませんでした。しかし、PTBDは外瘻となってしまうため患者様の苦痛が大きく、ADLが制限され、時に在宅管理が困難で自宅退院もできないなど、QOLが低下する事が問題点でした。EUS-HGSは、胃内からEUS下に左肝内胆管を穿刺しステントを留置する事で、肝内胆管と胃を吻合して胆道ドレナージを行う手技です。内瘻化ができるため、患者様の苦痛軽減、ADLを維持する事が可能で、自宅退院にも支障がなくなり、QOL低下を防ぐ事に大きく寄与しています。

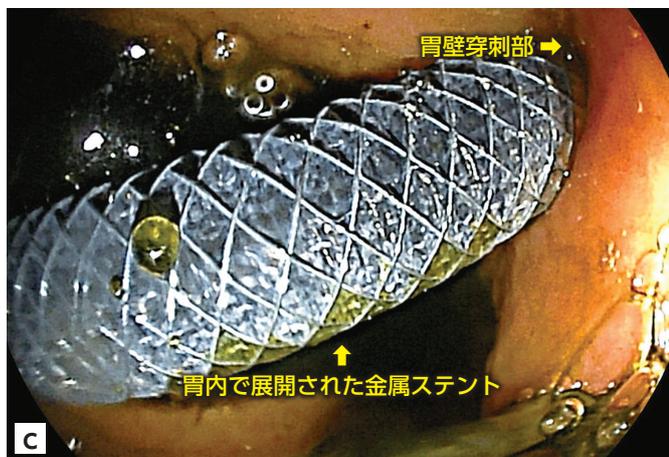
図2：EUS-HGS



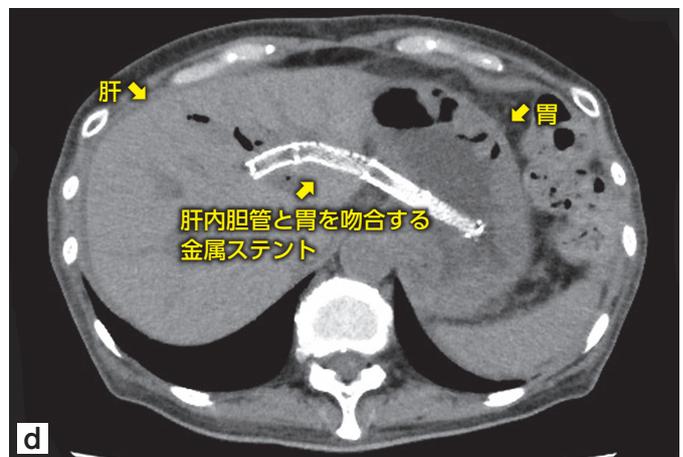
a：胃からEUSで拡張した肝内胆管を描出し、B3胆管を穿刺



b：穿刺針から造影剤を注入し胆管造影を行い、ガイドワイヤーを総胆管へ誘導



c：胃内で金属ステントを展開



d：術後のCT、肝内胆管から胃内にかけて金属ステントが留置されている

## ●おわりに

当科胆膵チームで日々行っている診療の一部をご紹介させていただきました。胆膵疾患が疑われる患者様がいらっしゃいま

したら、是非ご紹介いただけますと幸いです。地域の先生方にお役立ていただくとともに、患者様により良い医療をご提供できるよう、今後とも邁進して参る所存でございます。今後ともご指導ご鞭撻の程何卒よろしくお願い申し上げます。

診療のご予約は・・・

病診連携部門あてに「診察・検査FAX予約申込書」をお送り下さい。

病診連携連絡先

病診連携部門

TEL: 03-3481-7385 FAX: 03-3468-6191



東邦大学  
医療センター | 大橋病院  
Toho University Ohashi Medical Center

〒153-8515 東京都目黒区大橋2-22-36 電話 03-3468-1251

[http://www.ohashi\\_med.toho-u.ac.jp/](http://www.ohashi_med.toho-u.ac.jp/)  
携帯用サイト [http://www.ohashi\\_med.toho-u.ac.jp/m/](http://www.ohashi_med.toho-u.ac.jp/m/)

